

明治学院大学 社会学部 学内学会卒業生部会企画
上映会・講演会のご案内

障害者虐待差別と闘ったドキュメント映画

『人間を取り戻せ！ 大久保製壔闘争の記録』

上映会
&
講演会

「働く障害者への差別・虐待と闘う
—大久保製壔闘争の記録—」

講師：長崎 広（1971年社福卒・濱野一郎ゼミ）

日時
・
会場

2017年

土

6月17日

[総会] 14:00-14:45

[上映 & 講演] 15:00-16:30

[懇親会] 17:00-18:30

明治学院大学 白金校舎 2401 教室
(東京都港区白金台1-2-37)

入場無料／申込不要

大久保製壔闘争とは

1975年 リポビタンDなどのガラス壔製造工場の大久保製壔所(墨田区)で働く身体・知的障害者ら36名労働者(健常者3名)が日頃の職場内の障害者への暴力・虐待・差別に抗議し決起。工場座りこみ、日本基督教団堀切教会(齊藤宏牧師)に10日間の籠城闘争と労働組合(のちの東部労組大久保製壔支部)を結成。東京東部労働組合、キリスト者、保母、葛飾立石の知的障害者通勤寮「原町成年寮」の職員や地域の市民、労組員、障害者団体、地域の福祉工場職員や明治学院福祉学科学学生など200名が総力で応援。テレビ・新聞マスコミも大々的に報道。国会も取り上げた。12月8日全面勝利。職場復帰。

1976～1997年 職場に戻った労働者に対して、会社の卑劣な大巻き返し、労組攻撃始まる。以来21年9か月に及んだ大久保製壔闘争は、障害者自身が主体となり闘う労働争議として全国的に有名となり、各界から大きな支援を得た。1997年に全面解決するまで、何百回ものストライキや名物になった「路地から路地」デモ、全国各地で「大久保製壔闘争の記録」上映会・裁判・都労委員など幾多の闘いを繰り広げた。

現在 大久保製壔支部は「受けた支援は運動で返そう」と東京東部労働組合の一員として、遺族が東部労組に加入したワタミ過労死闘争、東京地下鉄メトロの駅売店のメトロコマース支部の女性たちの非正規差別に反対する闘いなどを応援。

主催：明治学院大学 社会学・社会福祉学会 (通称 社会学部学内学会)

お問い合わせ：社会学部学内学会 事務局 Tel 03-5421-2957